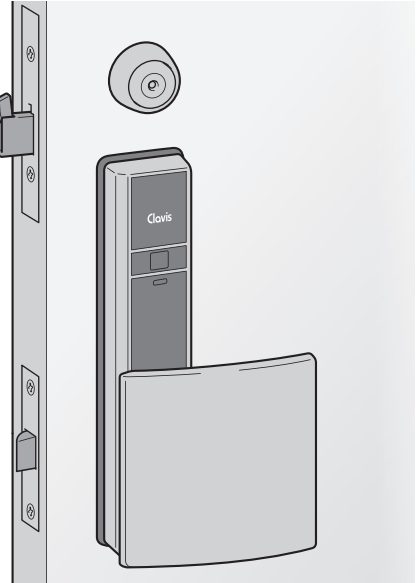
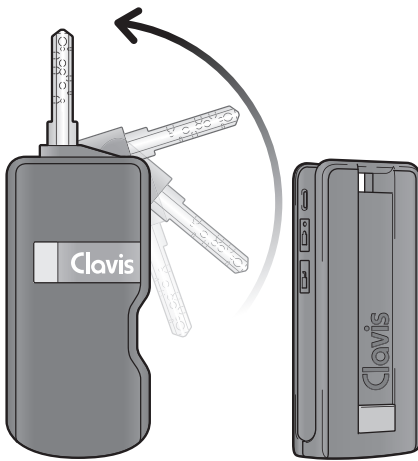


Clavis

電池錠システム

Tebra cell

取扱説明書



■オプション

	非接触認証 (TebraF キー / F カード)
	AC アダプタ

※ 上表はお客様のご住居に設定されている電気錠システムおよびオプションの種類です。該当する部分のみ、お読みください。

保存版

- このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
- 製品を末永く安全にお使いいただくために、「お使いになる前に」を必ずお読みください。
- 取扱説明書はいつでもお読みになれるように、大切に保管してください。

目次

お使いになる前に

安全上のご注意	1
電池錠システムの取り扱い	1
TebraF カード（カードキー）の取り扱い オプション	3
錠前の一般的な取り扱い	3
2 ロックセキュリティ機能	4
Tebra キー／タグのスリープ機能	4
盗難・悪用防止のために	5
お手入れについて	5
各部の名称	6

使用方法

Tebra キー／タグについて	8
ハンズフリー操作による施錠／解錠	9
TebraF キー／F カードについて オプション	10
TebraF キー／F カードによる施錠／解錠 オプション	11
Tebra 認証キー（Tebra キー／タグ／F キー／F カード）の再登録	12

お困りのときは




本体の電池切れ警告について	16
本体の電池交換	17
Tebra キー／タグの電池切れ警告について	18
Tebra キー／タグの電池交換	19
AC アダプタについて オプション	20
Tebra 認証キー（Tebra キー／タグ／F キー／F カード）を紛失した場合 ...	21
電池切れで作動しない場合	21
故障かな？とお考えになる前に	22
仕様	25

安全上のご注意

ここでは次の説明をしています。ご使用前に必ずお読みください。

- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたいこと
- 電池錠システム特有の留意事項

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負ったり財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お使いになる前に

電池錠システムの取り扱い

危険

植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着されている方が使用する場合は、リーダ部（[6ページ](#)）から植込み型医療機器の装着部位を22cm以上離して使用してください。

また、電波による医療用電気機器への影響については、担当医師や医療用電気機器製造業者などにご確認ください。

警告

- 精密な電子部品などを使っていますので分解や改造をしたり、強い衝撃を与えないでください。

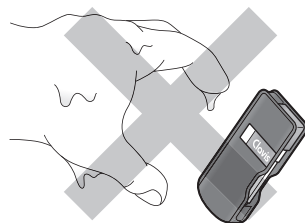
感電や故障の原因となります。また、分解・改造した物は保証対象外となります。

- Tebra キー／タグを水に濡らしたり、濡れた手で扱わないでください。

感電や故障の原因となります。

- 散水による水洗いは避けてください。また、雨露の直接かからない場所でお使いください。

感電や故障の原因となります。



注意

- 作動中（サムターンの回転中）およびブザーが鳴っている間は、ハンドル・サムターンを操作しないでください。

作動完了前（ブザーが鳴り終わる前）にハンドル・サムターンを操作すると故障の原因となる場合があります。



電池錠システムの取り扱い（続き）

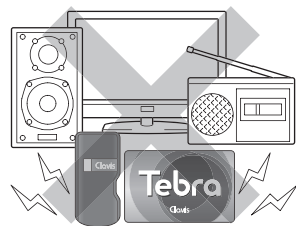
- 複数の Tebra キー／タグ／F キー／F カード（以下 Tebra 認証キーと呼びます）を同時に使用すると、作動・反応が遅くなったり、作動しない場合があります。

- 高温を避けて保管してください。

Tebra 認証キーの変形、破損、読み取り不良の原因となります。車の中に長時間放置したり、車のダッシュボードなど、直射日光下で高温になるような場所に Tebra 認証キーを置かないでください。

- Tebra キー／タグは常時電波を受信しており、強い電波を受信し続けた場合に電池を著しく消耗することがあります。電化製品の近くには置かないでください。
例：影響のある主な電化製品〈常時 1m 以上離すのが望ましいもの〉

テレビ、パソコン、電磁調理器、電気スタンド、充電中のコードレス電話器および携帯電話、医療用電気機器など



- 電池が切れると使用できません。電池が切れたときは手動操作でロックを施錠／解錠してください。（21 ページ）

- 温泉地など特殊ガス発生地域、浴室などの多湿の場所では使用しないでください。故障の原因となります。

- 電池切れ警告が現れたら速やかに新しい電池と交換してください。また、電池切れ警告が現なくても、本体は 1 年ごと、Tebra キー／タグは 2 年ごとに新しい電池と交換してください。（16～19 ページ）

- ・ 電池は指定の電池をご使用ください。
- ・ 電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- ・ 電池の消耗時には、作動範囲が狭くなる場合があります。

- 玄関ドア周辺の電波環境（各種電気機器・ノイズなど）により、Tebra キー／タグの作動範囲が変わる場合があります。

Tebra キー／タグを携帯電話などと一緒に携帯しているときや Tebra キー／タグが金属製のものに覆われたりしているときは、正常に作動しないことがあります。

- Tebra キー／タグが完全に静止していると、スリープ機能により施錠／解錠ができなくなります。（4 ページ）

少し揺らしながらご使用ください。

- 航空機に Tebra キー／タグを持ち込む場合は、航空機内で Tebra キー／タグのボタンを押さないでください。また、カバンなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。

ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

- ドアが開いた状態でも施錠／解錠操作が可能ですが、ドアを開けたまま施錠／解錠操作しないでください。

施錠状態でドアを開めるとドア枠を傷付けるおそれがあります。

⚠ 注意



注意

TebraF カードを折り曲げたり、擦ったり、また強い衝撃を与えないように保管・携帯してください。

TebraF カードの破損や読み取り不良の原因となります。

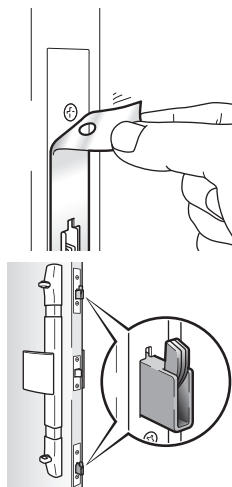
錠前の一般的な取り扱い

お使いになる前に



注意

- キーによる操作を長期間行わない場合、ホコリ等の影響でシリンダーの作動が悪くなる場合があります。1 か月に 2 ～ 3 回程度、キーによる操作を行ってください。
万が一作動が悪くなっている場合は 5 ページに掲載されております「お手入れについて」をご参照ください。
- 鍵穴に異物（針金やマッチ棒など）を入れないでください。
異物が詰まるとキーの操作ができなくなります。
- 錠のフロントプレートやストライク表面に保護シールが付いている場合は、必ずはがしてください。
そのまま放置すると、保護シールについている糊などの影響でサビが発生したり変色することがあります。
- コピーしたキーは使用しないでください。
キーの抜き差しや回転操作が悪くなり、シリンダーに悪影響をおよぼすおそれがあります。キーの追加購入については、マンション引き渡し書類の中でご案内している別紙『キーのアフターについて』に記載のサービス代行店までお問い合わせください。
- 施錠したときはハンドルを操作して確実に鍵がかかったことを確認してください。
- 経年劣化により戸先の垂れ下がり、ソリ、曲がり、歪みなどが生じて枠と接触し、錠がスムーズに動かない場合があります。
ドア全体の修理が必要となりますので、速やかに建築物の管理責任者・管理会社、施工業者または建具メーカーに連絡してください。
- 換気扇などの機械換気を行ったまま外出される場合は、換気口を必ず開けてください。
開けていないと、室内の圧力差によって玄関ドアが室内側に引っ張られるため、Tebra キー／タグ／F カードによる電池錠での施錠／解錠ができなくなることがあります。
- Tebra キーのアナログキーを取り出すとき・もどすときは必ず鍵操作ボタンを押してください。(7ページ▶)
無理に取り出し・もどす操作を行うと、破損の原因となります。



2 ロックセキュリティ機能

以下の機能はピッキングなどによる不正解錠を完全に防止するものではありません。万が一の場合の保証はございませんので、ご了承ください。

上下連動／子どもの閉じ込め防止機能

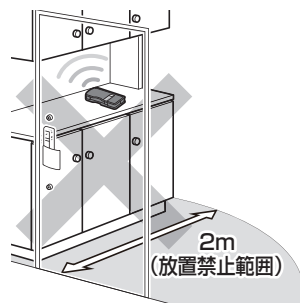
解錠状態時、上側のロックをキーまたはサムターンで手動施錠すると、下側のロックも連動し施錠されます。

- 次の場合は、連動して施錠されません。
 - ・ 下側のロックをキーまたはサムターンで手動施錠した場合
 - ・ 電池が切れた場合

Tebra キー／タグのスリープ機能

Tebra キー／タグを6秒以上、静止状態で保持すると、電池の消耗を防ぐためにスリープ機能が働きます。

- スリープ機能が働いた Tebra キー／タグは、作動範囲内であってもハンズフリー操作ができなくなります。
- 室内などでも作動範囲内（リーダから2m以内）に放置しないでください。誤作動のおそれがあります。



スリープ機能の解除

Tebra キー／タグを少し揺らしてください。



盗難・悪用防止のために

- 施錠忘れによる盗難を防ぐため、施錠の確認は必ず行ってください。
- Tebra 認証キーまたはキーには、使用場所が分かる表示は付けしないでください。紛失したときに悪用されるおそれがあります。
- 普段お使いにならない Tebra 認証キーまたはキーは、使用時以外、大切に保管してください。
- Tebra タグ／F カードをご使用の方は、機器の故障、電池切れなどに備え、必ずキーを持参してください。

お手入れについて

長期間、清掃しないままにしておくと、表面に付着した汚れはシミや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。

- 清掃は少なくとも月に 1～2 回程度、実施してください。
- 特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れをしてください。

お手入れ方法

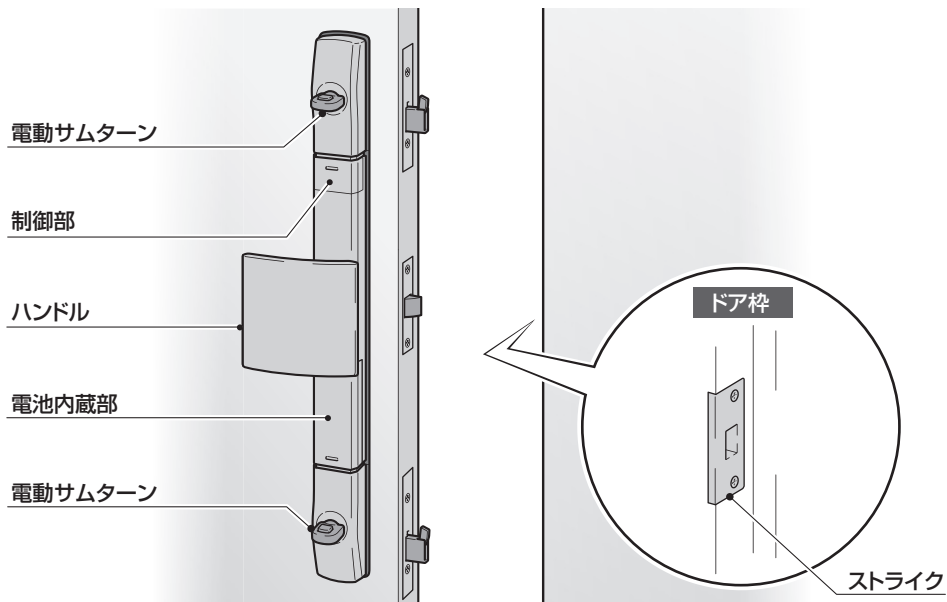
製品の損傷、サビ、腐食、変色などを防止するため、次の方法で実施してください。

- 1 柔らかい布でやさしく乾拭きしてください。**
強くこすらないでください。
- 2 落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を薄めた液を柔らかい布またはスポンジにしみ込ませてからよく絞って拭き取ってください。**
 - 洗剤の成分が残らないよう、十分に拭き取ってください。
 - 中性洗剤の液や水が製品にかからないようご注意ください。
 - サンドペーパー、堅いブラシ、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 3 キーの抜き差しや回転操作が悪くなったときは、柔らかい芯の鉛筆（B～4B）の粉や黒鉛粉、またはシリンダー専用の潤滑剤（粉末タイプ、シリコーンを含まないタイプ）を使用してください。**
 - 鉛筆を使用する場合は、キーの切り込み面を鉛筆でなぞった後、キーで抜き差しを数回行ってください。
 - 鍵穴には絶対に油を差さないでください。注入直後は操作が良好でもホコリを吸着し、かえって動きを悪くします。
 - シリコーンを含む潤滑剤を使用しないでください。故障の原因となります。



各部の名称

ドアまわり部品 (室内側)

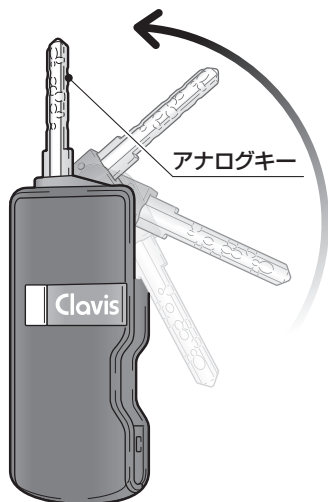


ドアまわり部品 (室外側)

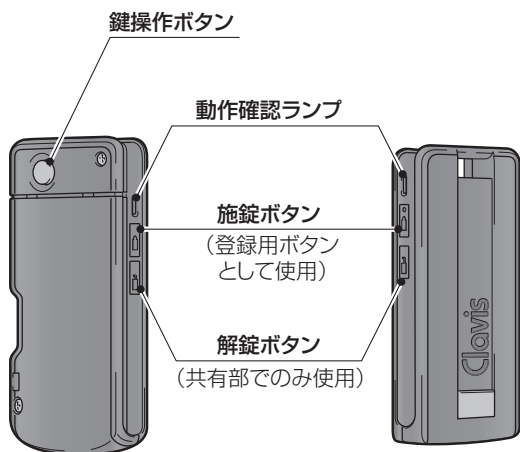


Tebra キー

Tebra タグ



アナログキー



鍵操作ボタン

動作確認ランプ

施錠ボタン
(登録用ボタンとして使用)

解錠ボタン
(共有部でのみ使用)

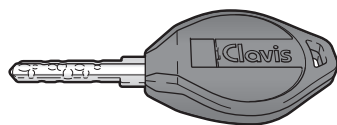
- アナログキーを出すときは、鍵操作ボタンを押します。
- 使用後は、鍵操作ボタンを押しながらアナログキーを Tebra キー本体にもどします。無理にもどすと破損の原因となります。
- 施錠ボタンは登録用として使用します。施錠機能としては使用できません。(14 ページ)

TebraF カード

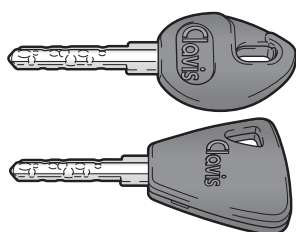
オプション

TebraF キー

オプション



キー



※: 電気的な操作はできません。

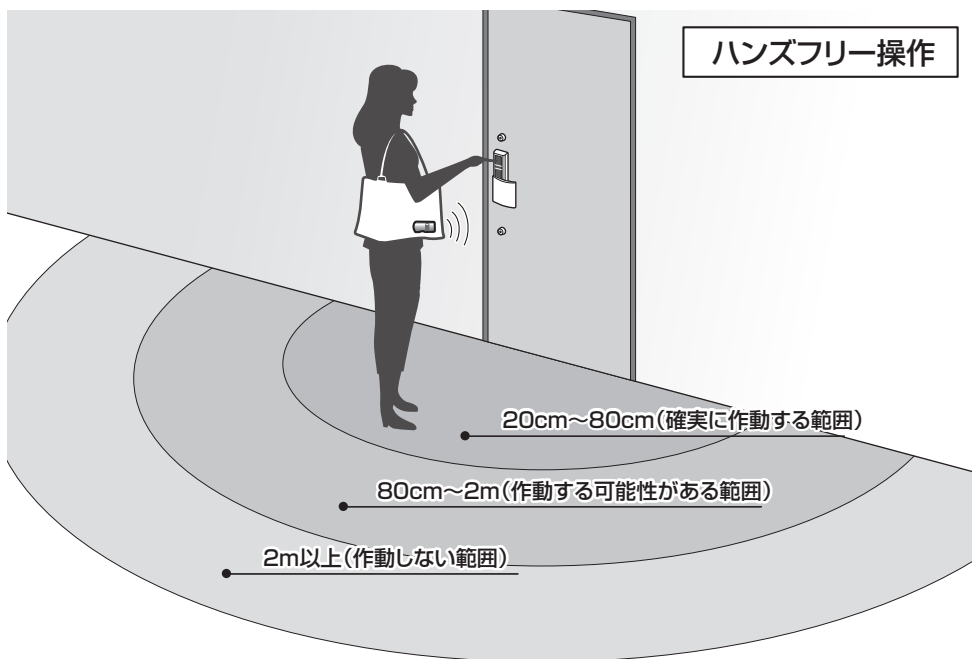
Tebra キー／タグについて

ハンズフリー操作

ハンズフリー操作とは、Tebra キー／タグがリーダ部の作動範囲内※にあれば、Tebra キー／タグをカバンなどに入れたままでもリーダ部の認証ボタンを押すだけで施錠／解錠ができる操作です。

Tebra キー／タグを持ったままリーダ部の作動範囲内※に入り、リーダ部の認証ボタンを押します。

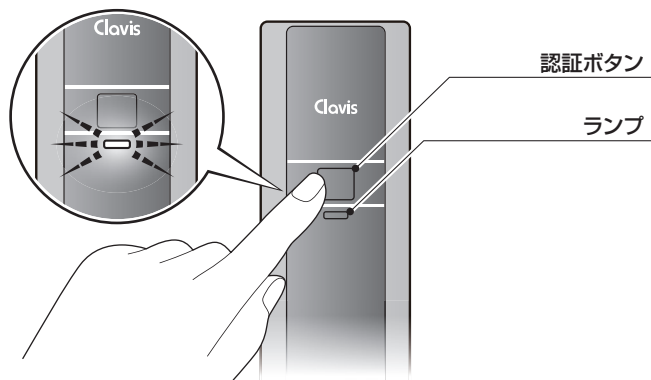
- 動作状況をランプおよびブザーでお知らせします。(9ページ)
- Tebra キー／タグの揺れを検知していないとロックを施錠／解錠することはできません。ロックの施錠／解錠ができないときは、Tebra キー／タグを少し揺らしながらロックを施錠／解錠してください。



※：作動範囲は設置環境によって異なります。

ハンズフリー操作による施錠／解錠

- 1 Tebra キー／タグを持ったままリーダ部の作動範囲内に入ります。(8 ページ)
- 2 リーダ部の認証ボタンを押します。



- 3 施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで動作状況をお知らせします。

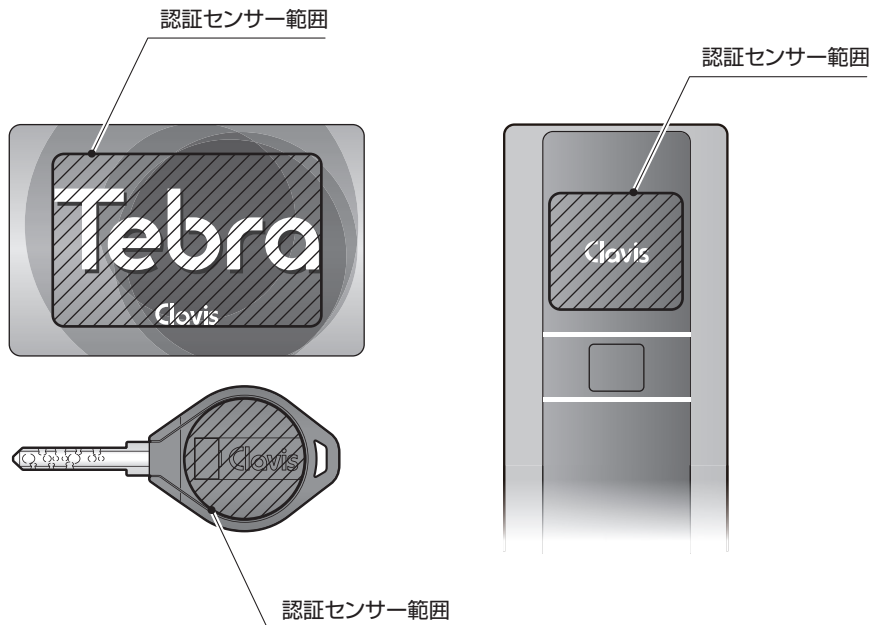
動作状況	ランプ	ブザー
解錠	赤色点灯 (1.5 秒)	ピピッ
解錠 (本体電池少)	赤色点灯 (1.5 秒) 後、オレンジ色点滅 (3 回)	ピピッ… ピーピー
施錠	緑色点灯 (1.5 秒)	ピッ
施錠 (本体電池少)	緑色点灯 (1.5 秒) 後、オレンジ色点滅 (3 回)	ピッ… ピーピー
認証異常※	赤色点滅 (3 回)	—
施錠／解錠異常	赤色点灯 (4 秒)	ピー---
電池減衰 (動作できず)	オレンジ色点滅 (3 回)	ピーピー

- 施錠／解錠 (本体電池少) のときは、早めに本体の電池交換をしてください。そのまま使い続けるとハンズフリー操作ができなくなります。(17 ページ)
- 施錠／解錠異常のときは、再度認証ボタンを押してください。
※ : Tebra キー／タグを持たずに操作した場合または登録されていない Tebra キー／タグで操作した場合、認証異常となります。
- 上記以外のランプ点灯／点滅およびブザーが鳴る場合もあります。
- 上下どちらかが施錠しているときは、認証ボタンを押すと解錠します。

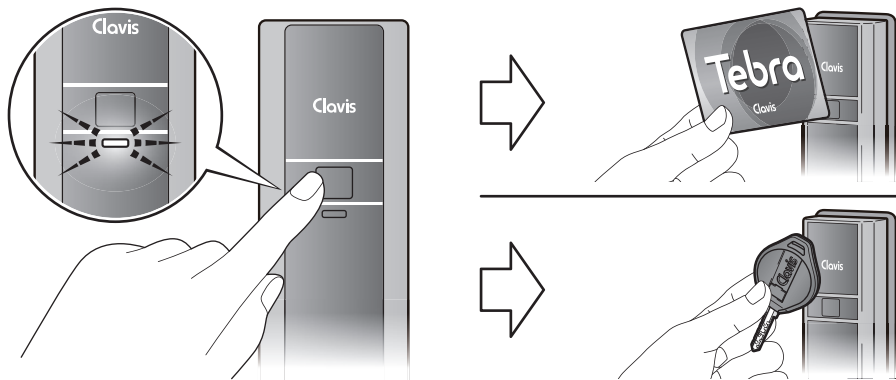
TebraF キー / Fカードの特性

TebraF キー / Fカードは IC チップを内蔵しており、リーダ部にかざすことで IC チップの情報を認証し、施錠 / 解錠を行います。

以下の領域でアンテナを形成しています。



- 1** リーダ部の認証ボタンを押し、TebraFキーのキーヘッド部またはTebraFカードの中央とリーダ部の「Clavis」マークを目安に合わせてかざします。
位置がずれ過ぎると認証されず、施錠／解錠ができません。



- 2** 施錠／解錠時、以下のランプおよびブザーで動作状況をお知らせします。

動作状況	ランプ	ブザー
解錠	赤色点灯（1.5 秒）	ピピッ
解錠（本体電池少）	赤色点灯（1.5 秒）後、オレンジ色点滅（3 回）	ピピッ… ピーピー
施錠	緑色点灯（1.5 秒）	ピッ
施錠（本体電池少）	緑色点灯（1.5 秒）後、オレンジ色点滅（3 回）	ピッ… ピーピー
認証異常※	赤色点滅（3 回）	—
施錠／解錠異常	赤色点灯（4 秒）	ピー---
電池減衰 （動作できず）	オレンジ色点滅（3 回）	ピーピー

- 施錠／解錠（本体電池少）のときは、早めに本体の電池交換をしてください。そのまま使い続けるとハンズフリー操作ができなくなります。 **17 ページ**
- 施錠／解錠異常のときは、再度認証ボタンを押してください。
- 認証異常のときは、一度 TebraF キー／F カードをリーダ部の「Clavis」マークから離し、再度 TebraF キー／F カードをリーダ部の「Clavis」マークにかざしてください。
※：登録されていない TebraF キー／F カードで操作した場合、認証異常となります。
- 上記以外のランプ点灯／点滅およびブザーが鳴る場合もあります。
- 上下どちらかが施錠しているときは、認証ボタンを押し、TebraF キー／F カードをリーダ部の「Clavis」マークにかざすと解錠します。

Tebra 認証キー (Tebra キー/タグ/Fキー/Fカード) の再登録

この製品は、複数 (最大 8 個) の ID 媒体 (Tebra 認証キー) を登録できます。ご使用前に Tebra 認証キーの再登録をおすすめします。新たに Tebra 認証キーを追加購入した場合は、追加登録が必要です。その際、既に登録してある ID 情報の抹消は必要ありません。

⚠ 注意

- 以下の場合、Tebra 認証キーの再登録が必要です。
 - ・紛失した Tebra 認証キーを使えなくする場合
- お使いになりたい Tebra 認証キーをすべて登録し直すことで、登録作業を行った Tebra 認証キーだけがお使いになれます。(今までお使いの Tebra 認証キーでも、再登録を行わなかった場合、すべて使えなくなります)
- 再登録には、ID 情報を全て抹消する必要があります。

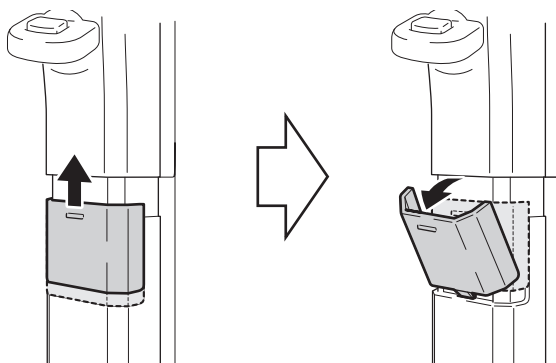
Tebra 認証キーの ID 情報の抹消

1 以下の物をお手元にご用意ください。

- 今までお使いの Tebra 認証キー
- 新規に登録したい Tebra 認証キー

2 室内側から制御部カバーを取りはずします。

カバーを上へスライドさせ、手前にずらします。

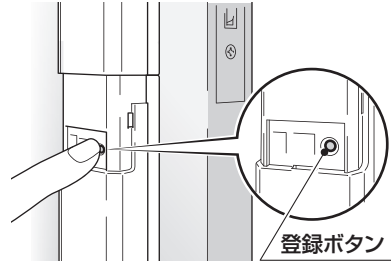


3 ロックをサムターンで解錠し、ドアを開けます。

※：ロックを解錠していない状態では、登録作業は行えません。

4 制御部の登録ボタンを2秒以上押し続け、ID登録・抹消モードにします。

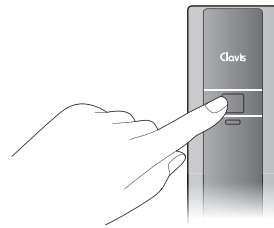
- ID登録・抹消モード中はサムターンを回したり、ドアを閉めないでください。
- ID登録・抹消モード中はリーダ部のランプが赤色点滅し続けます。



動作状況	ランプ	ブザー
ID登録・抹消モード開始	緑色点灯 (0.3秒)	ピッ
ID登録・抹消モード中	赤色点滅	—

5 リーダ部の認証ボタンを2秒以上、押し続けます。

“ピッ・ピピッ”とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。すべてのID情報が抹消されます。(ブザーが鳴る前にボタン操作を中断すると、ID情報が抹消されません)



動作状況	ランプ	ブザー
認証全消去	緑色点灯 (1.5秒)	ピッ・ピピッ

6 制御部の登録ボタンを押し、ID登録・抹消モードを終了します。

- ・ “ピッ”とブザーが鳴り、ID登録・抹消モードが終了します。
- ・ 15秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的にID登録・抹消モードが終了します。
- ID情報が抹消されたTebra認証キーは、そのままでは使用できません。すぐに再登録を行ってください。(14～15ページ)

動作状況	ランプ	ブザー
ID登録・抹消モード終了	—	ピッ

Tebra 認証キー(Tebraキー／タグ／Fキー／Fカード)の再登録(続き)

Tebra 認証キーの ID 情報の登録

1 制御部の登録ボタンを 2 秒以上押し続け、ID 登録・抹消モードにします。

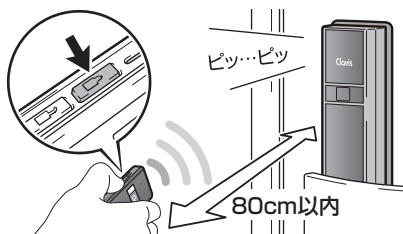
ロック解錠かつドアを開けた状態で行ってください。(12ページ)

2 Tebra 認証キーの登録をします。

Tebra キー／タグ

リーダ部の登録検知範囲内(約 80cm 以内)で、登録する Tebra キー／タグの施錠ボタンを 2 秒以上、押し続けます。

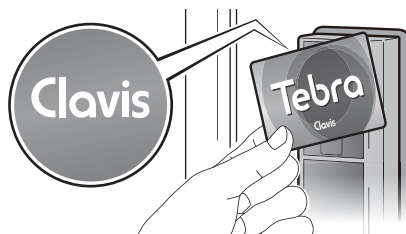
- ・ “ピッ…ピッ” とブザー※が鳴るまで Tebra キー／タグを登録検知範囲外に出さないでください。
- ・ 施錠ボタンを押した Tebra キー／タグのみ登録されます。(ブザーが鳴る前に Tebra キー／タグを登録検知範囲外に持ち出すと、認証されません)



TebraF キー／Fカード オプション

リーダ部の「Clavis」マークに、登録する TebraF キー／Fカードを 2 秒以上、かざし続けます。

- ・ “ピッ…ピッ” とブザー※が鳴るまで TebraF キー／Fカードを「Clavis」マークから約 1cm 以上、離さないでください。
- ・ かざした TebraF キー／Fカードのみ登録されます。(ブザーが鳴る前に TebraF キー／Fカードを「Clavis」マークから離すと、認証されません)



※：登録件数によってブザーの鳴り方が異なります。次ページの表をご参照ください。

3 すべての Tebra 認証キーに対して **2** の操作を行います。

ロック解錠かつドアを開けた状態で、すべての Tebra キー／タグおよび TebraF キー／Fカードの登録を完了させてください。

動作状況	ランプ	ブザー
ID 登録・抹消モード中	赤色点滅	—
1 ID 認証時	最初のブザーが 鳴ってから3秒後に 緑色点灯 (1.5 秒)	ピッ…ピッ
2 ID 認証時		ピッ…ピピッ
3 ID 認証時		ピッ…ピピピッ
4 ID 認証時		ピッ…ピピピピッ
5 ID 認証時		ピッ…ピーピッ
6 ID 認証時		ピッ…ピーピピッ
7 ID 認証時		ピッ…ピーピピピッ
8 ID 認証時		ピッ…ピーピピピピッ
認証異常	赤色点滅 (3 回)	ピー
登録件数エラー (8 ID 登録済み)	赤色・緑色が交互に点滅 (3 回)	ピー—

Tebra 認証キーの ID 情報の登録確認

1 制御部の登録ボタンを押し、ID 登録・抹消モードを終了します。

- ・ “ピッ” とブザーが鳴り、ID 登録・抹消モードが終了します。
- ・ 15 秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的に ID 登録・抹消モードが終了します。

動作状況	ランプ	ブザー
ID 登録・抹消モード終了	—	ピッ

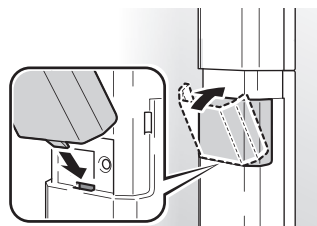
2 ID 情報を登録したすべての Tebra 認証キーで施錠／解錠操作を行い、正常に作動することを確認します。

(Tebra キー／タグ：9 ページ▶、TebraF キー／F カード：11 ページ▶)

確認する認証キー以外は作動範囲内（リーダ部から 2m 以内）に置かないでください。作動範囲内に複数の認証キーがある場合、確実な登録確認が行えません。

3 カバーを元にもどします。

ツメを差し込み、浮いている側を本体に「パチン」と音がするまではめこみます。



エントランスも Tebra 認証キーで開閉できる物件にお住まいのお客様へ

Tebra 認証キーの再登録を行った場合、エントランス用の制御盤も登録をやり直す必要があります。速やかにエントランス用の制御盤への再登録を行ってください。（エントランス用の制御盤への再登録は、マンション引き渡し書類の中でご案内している別紙『キーのアフターについて』に記載のサービス代行店までご連絡ください）

本体の電池切れ警告について

本体の電池残量が少なくなると、以下のようにランプとブザーでお知らせします。

動作状況	ランプ	ブザー
施錠（電池少）	緑色点灯（1.5 秒）後、オレンジ色点滅（3 回）	ピッ…ピーピー
解錠（電池少）	赤色点灯（1.5 秒）後、オレンジ色点滅（3 回）	ピピッ…ピーピー
電池減衰 （動作できず）	オレンジ色点滅（3 回）	ピーピー

電池交換後は、電池切れ警告が現れないことを確認してください。



危険

電池および取りはずした部品をお子さまに触らせたり、誤って飲み込んだりしないよう、十分注意してください。



注意

- 本体の電池寿命は約 1 年間（施錠／解錠を 1 回として、1 日 10 回使用した場合）ですが、電池切れにならなくても 1 年ごとに新しい電池と交換してください。
電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- 乾電池を交換するときは、単三アルカリ乾電池を 4 本同時に交換してください。
 - ・ 新しい電池と古い電池を混用しないでください。発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。
 - ・ 古い電池を本体に入れたままにしておくと、発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。すぐに本体から取りはずしてください。
 - ・ 指定以外の電池を使用すると、電池寿命が短くなる、機器の誤作動、または故障の原因になります。
- 電池の極性（+）（-）を逆に入れないでください。
本体が作動しないだけでなく、ショートによる発熱、液漏れにより故障の原因となる場合があります。
- 電池が液漏れしたときは、素手で触らないでください。
 - ・ 液が目に入ったときは失明のおそれがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
 - ・ 液が体や衣服に付いた時は、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
- 電池交換する際は、一度ドアノブなどの金属物を触って静電気を逃がしてから行ってください。また、セーターなど静電気がたまりやすい衣類を着たまま行わないでください。
静電気を体内に帯電させた状態で電池交換を行うと、故障するおそれがあります。
- 電池交換は電子部品保護のため、濡れた手、汚れた手で行わず、必ず次ページの方法にしたがって行ってください。

本体の電池交換

電池が消耗してくると、電池切れ警告（16ページ）が現れます。その場合は速やかに電池を交換してください。

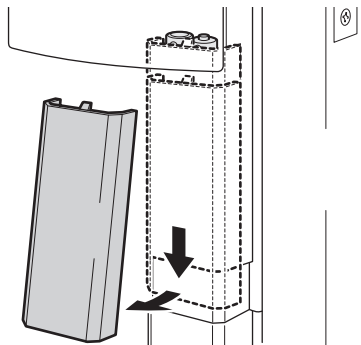
使用電池：単三アルカリ乾電池 4本

電池はカメラ店、コンビニエンスストア、家電販売店などで買い求められます。

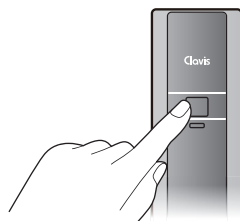
電池交換のしかた

取りはずした部品の紛失、破損に注意しながら行ってください。

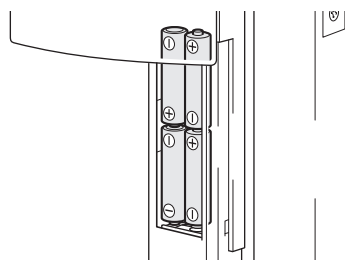
- 1 一度ドアノブなどの金属物を触って、体内の静電気を逃がします。**
- 2 室内側から電池内蔵部のカバーを取りはずします。**
下側にスライドさせ、手前にずらします。
- 3 古い電池を取りはずします。**
下側の電池から取りはずします。



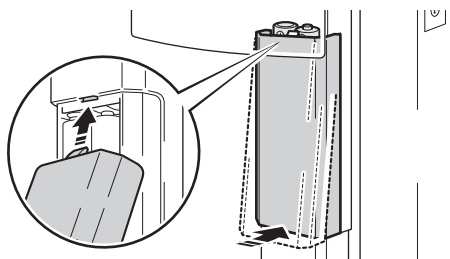
- 4 認証ボタンを1回押します。**
電池残量の警告機能をリセットします。



- 5 新しい電池を差し入れ、動作確認をします。**
 - ・ 上側の電池から差し入れます。
 - ・ 電池の極性 (+) (-) に注意してください。



- 6 カバーを元にもどします。**
ツメを差し込み、浮いている側を本体に「パチン」と音がするまではめこみます。



Tebra キー／タグの電池切れ警告について

Tebra キー／タグの電池残量が少なくなると、以下のように動作確認ランプでお知らせします。

動作状況	ランプ	ブザー
施錠／解錠 (Tebra キー／タグ電池少)	Tebra キー／タグの動作確認ランプが赤色点灯 (0.5 秒)	—
施錠／解錠 (Tebra キー／タグ電池残量無)	Tebra キー／タグの動作確認ランプは点灯しません。	—

電池交換後は、電池切れ警告が現れないことを確認してください。



危険

電池および取りはずした部品をお子さまに触らせたり、お子さまが飲み込んだりしないよう、十分注意してください。



注意

- ご入居の際に渡された Tebra キー／タグに内蔵されている電池は、動作確認用の電池です。
はじめてお使いになる前に電池交換されることをおすすめします。
- 指定の電池 (コイン型リチウム電池 CR2032) をご使用ください。
- Tebra キー／タグの電池寿命は約 2 年間 (施錠／解錠を 1 回として、1 日 10 回使用した場合) ですが、電池切れにならなくても 2 年ごとに新しい電池と交換してください。
電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- Tebra キー／タグは常時電波を受信しているため、全く使用しない場合でも電池を消耗します。また、強い電波を受信し続けた場合に電池を著しく消耗することがありますので、テレビ・パソコンなどの家電製品の近くに長時間放置しないでください。
- 電池交換する際は、一度ドアノブなどの金属物を触って静電気を逃がしてから行ってください。また、セーターなど静電気がたまりやすい衣類を着たまま行わないでください。
静電気を体内に帯電させた状態で電池交換を行うと、Tebra キー／タグの部品が故障するおそれがあります。
- 電池交換は電子部品保護のため、濡れた手、汚れた手で行わず、必ず次ページの方法にしたがって行ってください。

Tebra キー／タグの電池交換

電池が消耗してくると、電池切れ警告（18ページ）が現れます。その場合は速やかに電池を交換してください。

使用電池：コイン型リチウム電池 CR2032

電池はカメラ店、家電販売店などでお買い求めになります。

電池交換のしかた

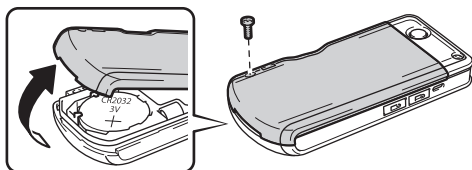
取りはずした部品の紛失、破損に注意しながら行ってください。

1 一度ドアノブなどの金属物を触って、体内の静電気を逃がします。

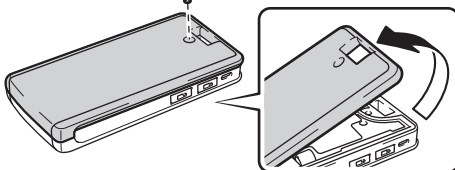
2 裏面のネジを取りはずし、カバーを取りはずします。

1番のプラスドライバーを使用してください。（ホームセンターなどでお買い求めになります）

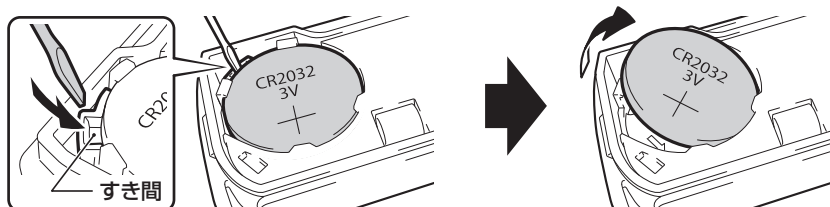
Tebraキー 溝部にコインなどを差し込み取りはずす



Tebraタグ

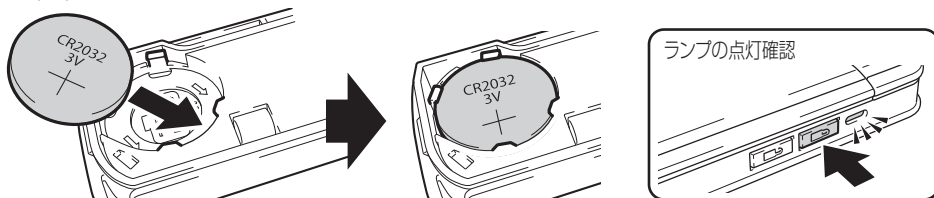


3 ドライバーなどをすき間に差し込み、起こすようにして古い電池を取りはずします。



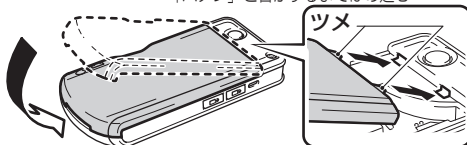
4 新しい電池を差し入れ、動作確認をします。

(+) が上になるように取り付けます。

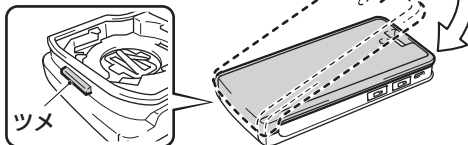


5 カバーを元にもどし、ネジを締め込みます。

Tebraキー ツメを差し込み、浮いている側をキー本体に「パチン」と音がするまではめ込む



Tebraタグ ツメを合わせて閉める



この製品にはオプション品として、乾電池の代わりに AC アダプタに対応した仕様もあります。

基本動作・機能は乾電池使用時と共通です。

電源供給の特性

電池	電池の消耗に伴い、動作が遅くなっていきます。 動作に必要な電池残量を下回った場合は、施錠／解錠動作後、電池切れ警告をします。(16ページ)
AC アダプタ	電池交換は必要なくなりますが、停電やブレーカーを落とした場合など、電源供給が停止すると、動作できません。



お客様による AC アダプタの取付工事を行わないでください。発煙、発火、火災、感電および機器の故障の原因になります。



- AC アダプタの対応を行った場合は乾電池を使用しないでください。乾電池の発熱、液漏れ、破裂および機器の故障の原因になります。
- 停電時は使用できません。手動操作でロックを施錠／解錠してください。(21ページ)

Tebra 認証キー (Tebra キー/タグ/Fキー/Fカード) を紛失した場合

対処のしかた



注意

防犯上、Tebra 認証キーを紛失されたときは、速やかに Tebra 認証キーの再登録 (ID 情報の抹消) を行ってください。(12~14 ページ) ID 情報を抹消することで、紛失した Tebra 認証キーでは認証施錠/解錠できなくなります。

キーの追加購入について

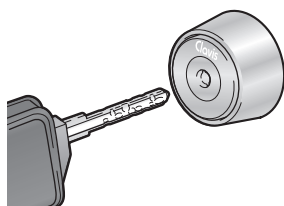
マンション引き渡し書類の中でご案内している別紙『キーのアフターについて』に記載のサービス代行店までお問い合わせください。

電池切れで作動しない場合

電池切れなどで Tebra 認証キーによる電池錠での施錠/解錠ができなくなった場合、手動で施錠/解錠してください。

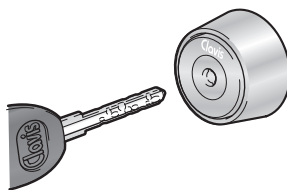
室外側 (Tebra キー)

Tebra キーのアナログキー (7 ページ) をシリンダーに差し込みます。



室外側 (Tebra タグ/Fキー/Fカード)

キーをシリンダーに差し込みます。



故障かな？とお考えになる前に

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、当社サービス窓口にご連絡ください。

全体項目

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
リーダ部の認証ボタンを押しても作動しない。 ・ランプがオレンジ色点滅し、“ピーピー”とブザーが鳴った。 ・リーダ部のランプが点灯しない。	本体の電池切れです。	新しい電池に交換してください。(単三アルカリ乾電池 4本)	17
施錠／解錠ができない。	ドアが完全に閉まりきっていない。	ドアを閉めてください。	—
	室内換気を行っている。	室内の圧力差による現象です。(故障ではありません)	3
施錠／解錠時、リーダ部のランプが赤色点灯(4秒)し、“ピー”とブザー(3秒)が鳴り続けた。	ドアの施錠／解錠異常です。	ドアがしっかり閉まっていることを確認し、再度 Tebra 認証キーを使用し、施錠／解錠確認をしてください。 (サムターンを使用しても施錠／解錠できない場合は、ドア全体の調整が必要となりますので、速やかに建築物の管理責任者・管理会社、施工業者または建具メーカーに連絡してください)	—
連動施錠されない。	本体の電池切れまたは下側のロックを手動施錠した。	電池が切れたとき以外は Tebra 認証キーで施錠するか、上側のロックを手動施錠してください。 (電池が切れたときは連動施錠されません)	4

Tebra キー／タグ

状態	考えられる原因	処置	参照 ページ
リーダ部の認証ボタンを 押しても作動しない。	Tebra キー／タグが作動 範囲にない。	Tebra キー／タグを持って いるか確認してください。	8
	Tebra キー／タグに電池 が入っていない。	電池を入れてください。 (コイン型リチウム電池 CR2032)	19
	Tebra キー／タグが6秒 以上、静止している。	Tebra キー／タグを揺らし ながら操作してください。	4
	Tebra キー／タグの電池 残量が少ない。(電池残 量が少ないときは、動作 ランプでお知らせします 18 ページ)	新しい電池に交換してく ださい。(コイン型リチウ ム電池 CR2032)	19
		アナログキーで施錠／解 錠してください。	6 7 21
		複数の Tebra キー／タグ を作動範囲内で同時に使 用している。	Tebra キー／タグは1つ だけ使用してください。
	Tebra キー／タグが登録 されていない。	Tebra キー／タグを登録 してください。(ID 情報 を抹消した場合、すべて の Tebra キー／タグの再 登録が必要です)	14
Tebra キー／タグのID 情報 の抹消・再登録ができない。	ID 登録・抹消モードに なっていない。	ID 登録・抹消モードにし てください。	12
Tebra キー／タグのID 情報の抹消ができない。	リーダ部の認証ボタンを 2秒以上、押し続けてい ない。	“ピッ・ピッ” とブザー が鳴るまでボタンを押し 続けてください。	12
Tebra キー／タグが登録 ができない。	リーダ部の登録検知範囲 内(約80cm以内)で Tebra キー／タグの施錠 ボタンを2秒以上、押し 続けていない。	リーダ部の登録検知範囲 内で“ピッ…ピッ” とブ ザーが鳴るまで登録ボタ ンを押し続けてください。	14

故障かな？とお考えになる前に（続き）

TebraF キー／Fカード

オプション

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
施錠／解錠ができない。	TebraF キー／Fカードをリーダ部に正しくかざしていない。	TebraF キーのキーヘッド部またはFカード中央とリーダ部の「 Clovis 」マークを目安に合わせてかざします。	11
	複数のTebra 認証キーを同時に使用している。	Tebra 認証キーは1つだけ使用してください。	2
	TebraF キー／Fカードが登録されていない。	TebraF キー／Fカードを登録してください。（ID情報を抹消した場合、すべてのTebraF キー／Fカードの再登録が必要です）	14
TebraF キー／FカードのID情報の抹消・再登録ができない。	ID登録・抹消モードになっていない。	ID登録・抹消モードにしてください。	12
TebraF キー／FカードのID情報の抹消ができない。	リーダ部の認証ボタンを2秒以上、押し続けない。	“ピッ・ピッ”とブザーが鳴るまで認証ボタンを押し続けてください。	12
TebraF キー／Fカードの登録ができない。	リーダ部の「 Clovis 」マークに、TebraF キー／Fカードを2秒以上、かざし続けていない。（約1cm以内）	“ピッ…ピッ”とブザーが鳴るまでTebraF キー／Fカードをかざし続けてください。	14

Tebra 認証キー（Tebra キー／タグ／Fキー／Fカード）共通

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
Tebra 認証キーの登録ができない。	最大登録数（8個）を超えている。	—	15
施錠／解錠ができない。	ID登録・抹消モードになっていない。	ID登録・抹消モードを終了してください。	15

仕様

■ リーダ本体仕様

送信周波数	ハンズフリー	125.0kHz
	IC カード	13.56MHz
使用電池	単三アルカリ乾電池 (DC6V) 4本	
動作電流	最大 1A	
電池寿命	約 1年※1 (施錠／解錠を 1回として 1日 10回使用した場合)	

※1：使用環境により電池寿命は変動します。

■ Tebra キー／タグの仕様

使用電池	コイン型リチウム電池 CR2032 (DC3V)
送信周波数	315MHz
動作電流	最大 14mA
電池寿命	約 2年 (施錠／解錠を 1回として 1日 10回使用した場合)
登録可能 ID キー数	最大 8個 ※2

※2：Tebra 認証キー (Tebra キー／タグ／F キー／F カード) の合計数となります。

■ 交信性能※3

ハンズフリー交信範囲	約 80cm
------------	--------

※3：使用環境により交信性能は変動します。

■ 使用環境※4

使用温度範囲	- 10℃～ 50℃
使用湿度範囲	30 ～ 90% RH (結露／氷結無きこと)

※4：電池の種類により異なります。

Clavis

URL: <http://www.clavis.jp>

株式会社ラブリニ

〈大阪〉

〒542-0082 大阪府大阪市中央区島之内2-12-21

TEL : 06-6211-0640

FAX : 06-6214-3685

〈東京〉

〒113-0033 東京都文京区本郷1-24-1
リーフスクエア本郷ビル

TEL : 03-5802-6887

FAX : 03-5802-8070

No.15-10-01/xx.a